

統合準備ニュース 第1号

2014.2発行

編集発行：統合準備委員会事務局
問合せ先：仙台市教育委員会
学校規模適正化推進室
TEL：214-8432 FAX：264-4428
Mail：kyo019031@city.sendai.jp

坪沼小と生出小の統合準備が始まりました

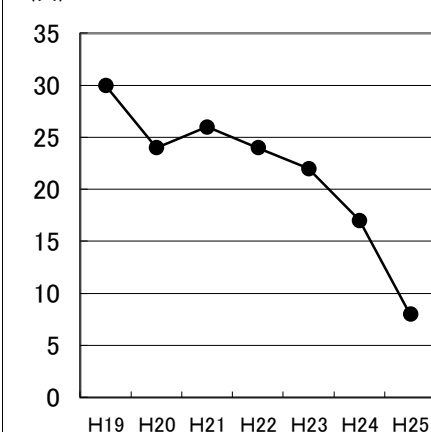
坪沼小と生出小の統合に向けた話し合いを行うため、両校の教職員・保護者・地域関係者・教育委員会の代表で構成する「第1回統合準備委員会」が開催されました。

これまでの経過

坪沼小は、今年度の全校児童が第4・5学年のみの8人となり、児童数の減少が著しくなってきたことから、児童の良好な教育環境を確保することが難しく、学校運営の点からも課題が生じてきている状況です。

昨年度の坪沼小父母教師会全体会において、多くの保護者から小規模化への不安が示されたことから、地域関係者・保護者・学校が坪沼地域懇談会を開催し、坪沼小学校の今後のあり方について協議を行ってきました。

坪沼小児童数の推移



【坪沼地域での協議経過】

- H24. 7 父母教師会全体会での児童数減少に関するアンケートにより保護者の不安が示されました。
- H24. 8 地域懇談会等により保護者・地域関係者が継続的に協議
- H24. 10 プロジェクト会議で坪沼地域活性化についての話し合いを継続的に協議
- H25. 7 第1回坪沼地域懇談会（主催：地域関係者・保護者・学校）「坪沼小の将来構想について①」
- H25. 8 第2回坪沼地域懇談会（主催：地域関係者・保護者・学校）「坪沼小の将来構想について②」
次回までに地域住民の意思を確認
- H25. 10 第3回坪沼地域懇談会（主催：地域関係者・保護者・学校）

統合準備委員会の設置

第3回坪沼地域懇談会において、「学校を存続させたいが児童数減少への対応が難しく、児童の教育環境を考えた場合、生出小との統合を希望する保護者の考えを尊重する」という意向と「今後の統合に向けての話し合いを教育委員会に一任する」という結論が示されたことを受けまして、教育委員会として、下記委員による「統合準備委員会」を設置し、両校の統合に向けた話し合いを進めることになりました。

統合準備委員会委員（敬称略）

※委員の互選により◎委員長・○委員長代理を選出

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ◎成瀬 秀治（坪沼小校長） | 佐藤多喜雄（坪沼地区振興会板橋町内会長） |
| ○菅原 一郎（生出小校長） | 加藤 和彦（坪沼地区振興会坪沼北町内会長） |
| 齋藤まり子（坪沼小教頭） | 佐藤 成悦（坪沼地区振興会根添町内会長） |
| 佐山 富城（生出小教頭） | 菅野 雅美（坪沼地区振興会中沖町内会長） |
| 佐藤 義晴（坪沼小父母教師会長） | 堀江 俊男（生出学区連合町内会長） |
| 小林 隆（坪沼小父母教師会副会長） | 山田勝三郎（生出学区連合町内会副会長） |
| 菅原早百合（坪沼小父母教師会会計） | 桜井 信義（生出学区連合町内会副会長） |
| 太田 孝（生出小父母教師会長） | 沼田恵美子（生出学区連合町内会副会長） |
| 廣田 広美（生出小父母教師会副会長） | 菅野 俊久（坪沼学区民体育振興会長） |
| 佐藤 真澄（生出小父母教師会副会長） | 嶺 栄松（生出学区民体育振興会長） |
| | 福田 洋之（教育委員会事務局総務企画部長） |

第 1 回統合準備委員会の概要をお知らせします

日時：平成 26 年 1 月 28 日(火) 18:00～

場所：坪沼コミュニティセンター

第 3 回坪沼地域懇談会において示された地域の意向と結論を受け、子どもたちのよりよい教育環境を確保するため、「坪沼小を生出小に統合することが望ましい」とする教育委員会としての考えが提案されました。その際、以前坪沼小の保護者や地域の皆様から出されていた「統合した際の課題や不安」への対応について報告がありました。

◇坪沼の子どもたちの通学はどのようなになるのか

学区外の学校へ通学する場合の通学支援は行っていませんが、今回「統合」という特殊な状況を考慮し、通学支援を行います。26 年度は一般の民間タクシーを利用し、そのタクシー代を助成します。27 年度以降は、坪沼乗合タクシーの運行の状況等を踏まえ、地域関係者や保護者の考えを伺いながら支援の方法を検討していきます。

◇坪沼の子どもたちの放課後の待機場所を確保してほしい

生出小の図書室を開放し、民間タクシーが迎えに来るまで、子どもたちが待機できるように、今後、学校と時間的な調整をしていきます。

◇坪沼小が学校でなくなった場合の施設はどうなるのか

地域の皆様のご意見をお聞きするとともに、市全体の公共施設の整備計画や設置状況等を考慮しながら、そのあり方について検討していきます。

これらの対応に理解が示されたことから「坪沼小を生出小に統合する」ことになりました。

統合準備スケジュール

両校の教職員・保護者・地域関係者・教育委員会の代表による「統合準備委員会」、両校教職員による「両校合同会議」、教育委員会関係課による「庁内対応チーム」の 3 つの会議を設置し、下記のスケジュールで進めることを確認しました。

		25 年度		26 年度				坪沼小・生出小統合
		2～3 月		4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月	
統合準備委員会	諸団体	第1回		第2回	第3回	必要に応じて開催		
		統合に向けた協議項目の調整 (統合の時期、校区の広域化に伴う児童の安全対応 等)						
		同窓会、父母教師会、学区民体育振興会等の組織・行事・財産の調整 (団体ごとに調整・話し合い)						
両校合同会議		第1回		第2回	学校運営に関する項目の検討と調整 ※随時開催 (教材・教具・備品・体育着等の調整)			
		児童間交流の計画と実施						
庁内対応チーム		第1回		第2回	統合に向けた各種手続きの調整と対応 ※随時開催 (就学手続き、その他統合に必要な項目の検討 等)			

統合時期は「平成 27 年 4 月」となりました

今後、学校運営に関する項目の検討や統合に向けた各種手続きの調整を丁寧に行うこと、両校の子どもたちがお互いの学校生活をより意識した事前の児童間交流を 1 年間通して実施していくこと、また、坪沼小が 6 年生一学年の学校にならないようにすることなどから、両校の統合時期を「平成 27 年 4 月」として準備を進めていくことになりました。

<次回開催予定>

日時：平成 26 年 5 月 27 日(火) 18:30～

場所：生出市民センター 第一講義室

※取り組み内容はホームページでもご覧いただけます。

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索